

「生命のがん教育」を実施しました

(平成 27 年度 2 学期分)

平成 27 年度 2 学期は 31 校に出向き、「生命のがん教育」を実施しました。

◆授業形式

- (1) 医療従事者によるがんについての講義 (20 分)
- (2) がん経験者のお話 (20 分)

◆授業風景



◎小学校 (7 校)

実施日	実施校	学年	担当講師*
10月22日	八幡市立南山小学校	6年	京都第二赤十字病院 消化器内科 雨宮 可奈
11月12日	精華町立山田荘小学校	6年	京都医療センター 腫瘍内科診療部長・ 外来化学療法センター長 安井 久晃
12月2日	福知山市立大正小学校	6年	福知山市民病院 副診療部長・外科医長 川上 定男
12月5日	伊根町立本庄小学校	全学年	京都府立医科大学附属北部医療センター 総合診療科医長、伊根診療所長 石野 秀岳
12月7日	亀岡市立畑野小学校	5,6年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 榎村 敦詩
12月15日	福知山市立細見小学校	4,5年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 榎村 敦詩
12月18日	亀岡市立城西小学校	6年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 榎村 敦詩

< 児童の感想 >

- ◇ 家族や友達、親戚の人達に「がん」を予防することや、命の大切さを言おうと思いました。
- ◇ 今日、もらった冊子を両親に見せて、禁煙をすすめようと思いました。
- ◇ 子供のうちから気をつけようと思いました。また大人になったら検診を受けて病気を早く見つけられるよう

に努力したいです。

- ◇ 大人になってからではなく、今から気をつけようと思いました。早期発見が大切。そして正しい知識を持つことが大切だと思いました。
- ◇ 家族に、今日、学んだことを伝え、こまめに健康診断に行ってもらいたいと思いました。そして、もし病気が見つかってもしっかりと落ち着いて対処したいと思います。
- ◇ 今まで、私は「がん＝死」とイメージしていましたが、今日の授業で、「がん」は治療すれば治るし、しっかり知識を身につけておけば、もしなつたときに前向きに病気と闘っていける気がしました。今日、学んだことをしっかり覚えておきたいです。
- ◇ 家族に今日の話を話したいと思います。たばこが危ないことや、生活習慣に気をつけること、運動が大事なことなどを教えてあげたいです。
- ◇ 今、自分が生きていることが幸せなことだと感じました。生きているこの時間を大切にしたいと思います。
- ◇ 父が最近、お酒の量を少なくしたので応援したいです。健康診断は毎回、受けているようなので、これからもずっと受けてほしいです。

◎中学校（19校）

実施日	実施校	学年	担当講師*
9月8日	精華町立精華中学校	2年	京都府山城南保健所 所長 時田 和彦
10月2日	舞鶴市立城北中学校	3年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 榎村 敦詩
10月5日	精華町立精華西中学校	1年	京都山城総合医療センター 外科部長 中田 雅支
10月21日	亀岡市立育親中学校	3年	京都桂病院 院長補佐（小児科部長） 若園 吉裕
10月22日	京都市立高野中学校	1年	京都府立医科大学大学院医学研究科 泌尿器外科学 講師 中村 晃和
10月28日	南丹市立桜が丘中学校	小6 中1,2,3	公立南丹病院 統括部長兼外科部長兼手術部長 山岡 延樹
11月5日	京都精華学園中学校	1年	京都大学医学部附属病院 遺伝子診療部 特定准教授 三宅 秀彦
11月6日	舞鶴市立和田中学校	3年	京都府中丹東保健所 所長 常盤 和明
11月9日	舞鶴市立青葉中学校	3年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 榎村 敦詩
11月12日	舞鶴市立白糸中学校	3年	綾部市立病院 呼吸器外科 医長 石原 駿太
11月12日	舞鶴市立加佐中学校	3年	舞鶴医療センター 小児科 坂本 謙一
11月13日	城陽市立城陽中学校	3年	京都府健康福祉部健康対策課 薬剤師 光岡 由利子
11月17日	木津川市立 木津第二中学校	1年	京都第一赤十字病院 緩和ケア内科 部長 上田 和茂
12月1日	宇治市立榎島中学校	3年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 榎村 敦詩
12月7日	京都市立岡崎中学校	1年	三菱京都病院 腫瘍内科 部長 吉岡 亮

12月10日	舞鶴市立若浦中学校	3年	綾部市立病院 一般・消化器外科 医長 永田 啓明
12月11日	井手町立泉ヶ丘中学校	3年	京都大学医学部附属病院 遺伝子診療部 特定准教授 三宅 秀彦
12月11日	福知山市立 夜久野中学校	3年	福知山市民病院 副診療部長・外科医長 川上 定男
12月15日	相楽東部広域連合立 和束中学校	3年	宇治徳洲会病院 外科部長 梶原 正章

<生徒の感想>

- ◇ 今日、学んだことを家族や身近な人に伝えて、「がん」の予防をしていきたいと思います。
- ◇ 生命の大切さがよくわかりました。「がん」はとても怖い病気なので、これからの生活をきちんとしていこうと思いました。
- ◇ 私が小学生のとき、父はたばこを吸っていましたが、健康に悪いし、家族にも悪いので、がんばって止めてくれました。それ以来、一度もたばこを吸っているところを見たことがないので、とてもうれしいです。
- ◇ 二人に一人が「がん」になると聞いて驚きました。「がん」にはなりたくないなので、予防できることをしようと思いましたし、規則正しい生活をおくろうと思いました。そして「がん」は早く見つけることが大事だとわかったので、大人になったら検査を受けようと思いました

◎高等学校（5校）

実施日	実施校	学年	担当講師*
10月2日	京都府立工業高等学校	3年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 榎村 敦詩
10月21日	京都府立農芸高等学校	2年	京都市立病院 消化器内科 水野 直樹
10月23日	立命館高等学校	3年	京都府健康福祉部 保健医療対策監 本橋 豊
11月19日	京都府立 峰山高等学校弥栄分校	3年	京都府立医科大学附属北部医療センター 消化器内科 医長 堅田 和弘
12月9日	京都府立 久美浜高等学校	1年	京都府丹後保健所 所長 山田 明

<生徒の感想>

- ◇ 自分のことは自分で管理して予防していこうと思いました。家族や身近な人たちには定期検診をすすめます。
- ◇ 今、元気に生活できていることに感謝し、後悔しないように充実した生活を送りたいです。
- ◇ たばこは自分の身体だけではなく、周りの人の身体にも影響してしまうので吸わないほうが良いと改めて思いました。
- ◇ 自分自身はまだ若いと思っているので、命について身近に感じることはありませんでしたが、今回の話を聞いて、今、普通に生きていられるこの時間、一つ一つを大切にしなければならないと思いました。
- ◇ 「大丈夫だから」と思って検診を受けにいかなかったりするような雰囲気が私の身の回りで拡がることのないようにしたいです。

いようにしたいと思いました。

- ☆ 身近にあるものなのに、それを認識していなかったことがよくなかった。自分は絶対にならないと思っていても、なってしまうのが「がん」だと思いました。改めて予防をしっかりとりたいと思いました。
- ☆ 私は「がん」はテレビやドラマの中だけで、自分は関係ないだろうと思っていました。でも、今日の話聞いて、「がん」は身近なものだと思いました

※担当講師の所属・役職は授業実施当時のものです。

「生命のがん教育」の実施を検討されている学校は健康対策課がん対策係までご連絡ください。

TEL：075-414-4766 電子メール：kentai@pref.kyoto.lg.jp